

藤沢周平作品
「海坂藩」ゆかりの城下マップ
鶴岡公園（鶴ヶ岡城址）周辺



① 致道博物館

庄内藩の御用屋敷跡に位置し、鶴岡・庄内の歴史・民俗資料を保存・公開している。

藩の御用屋敷

『潮田伝五郎置文』『冤罪』新潮文庫

藩主が、海坂城下をあげて行われる盆踊りを御用屋敷に呼んで見る。

② 鶴岡公園の桜

鶴ヶ岡城の本丸・二ノ丸跡で、「日本さくら名所100選」に選ばれている。

二ノ丸の堀沿いの桜

『花のあと—以登女お物語—』『花のあと』文春文庫

桜の時期は家中の子女が二ノ丸に入ることを許され花見をたのしむ。

③ 旧三ノ丸

鶴ヶ岡城は本丸、二ノ丸、家中屋敷が並ぶ三ノ丸から成っていた。

三ノ丸

『三ノ丸広場下城どき』『麦屋町昼下がり』文春文庫

乗馬訓練の馬場、会所や郡代屋敷などの建物がある。

④ 庄内藩校 致道館

東北地方に唯一現存する藩校建造物。自学自習、生徒の個性を伸ばす教育方針だった。

藩校『暗黒剣千鳥』『隠し剣孤影抄』文春文庫

家中の子弟が通い、論語や孝経を学ぶ。

⑤ 旧風間家住宅丙申堂

豪商・風間家の住居兼営業拠点。明治期、家老屋敷跡に建築され、現在は武家門が残る。

家老屋敷『暗殺の年輪』『暗殺の年輪』文春文庫

大手門前に重臣の屋敷が並ぶ。

⑥ 内川

鶴岡市街地内を流れる。江戸期は城の外堀とされた。

五間川『蟬しぐれ』文春文庫

海坂藩の市中を流れる川。河岸沿いの道を藩士たちが歩く。

⑦ 大泉橋（旧荒町橋）

内川が流れを東に変える場所に架かる。

千鳥橋『秘太刀馬の骨』文春文庫

五間川に架かる橋。たもとは船着場を照らす常夜灯がある。